

平成 21 年度～23 年度 習志野市事務事業評価表

1. 事務事業基本情報

事業名	No.64 次世代育成支援対策事業			担当課	こども政策課		予算費目名	款 3	項 2	目 1
事業概要 及び目的	次世代育成支援対策推進法に基づき、社会情勢の変化や多様なニーズに対応するため 前期次世代行動計画（17年度から21年度）の必要な見直しを行い、後期次世代行 動計画（22年度から26年度）を21年度中に策定する。			成果目 標	成果指標 ニーズ調査の実施 後期次世代行動計画の策定	年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
						予算額（単位：円）	5,140,322	2,842,000 流用後 5,030,000	324,000 流用後 920,000	—
						決算額（単位：円）	3,971,094	4,594,217	709,645	—
						従事職員数	1	2	1	—
事業の 位置づけ	章 1	豊かな人間性と暖かさを育むまち	★左記施策（号）との結び付き 子育て家庭のニーズに合った後期次世代行動計画を策定することで多様な 子育て支援施策の展開につながる。	従事延べ日数	180	300	150	—		
	節 2	保健・医療・福祉環境の整備		民間活力の導入	現状は？：□実現している □将来可能性はある □将来困難だが可能性はある ■余地なし					
	項 3	高齢者福祉・障害者福祉・児童福祉などの充実			相手は？：□市民 □市民活動団体 □企業・学校等					
	号 3	子育て・子育て支援施策の充実			形態は？：					

2. 進捗状況 平成 21 年 7 月 30 日記入 平成 22 年 5 月 6 日記入 平成 23 年 4 月 22 日記入

年度	21 年度評価（20 年度実施した事項についての評価）				22 年度評価（21 年度実施した事項についての評価）				23 年度評価（22 年度実施した事項についての評価）						
実施計画上の予定	実施	実施計画の予定 年度終了後	実施	★継続している事項、 未着手事項がある理由	実施計画 上の予定	実施	実施計画の予定 年度終了後	実施	★継続している事項、 未着手事項がある理由	実施計画 上の予定	策定終了	実施計画の予定 年度終了後	策定終了	★継続している事項、 未着手事項がある理由	
完了した事項	・次世代育成支援に関するニーズ調査の実施				・次世代育成支援対策行動計画（後期計画）の策定										
継続している 事項															
未着手事項															
改善案	成果指標				成果指標				成果指標						
	実績値 ニーズ調査		達成率 50%		実績値 後期計画		達成率 100%		実績値 —		達成率 — %		実績値 —		達成率 — %

3. 今後の方向性 ※課内協議を経て管理職が記入してください。 平成 21 年 7 月 30 日協議実施 平成 22 年 5 月 6 日協議実施 平成 年 月 日協議実施

今後の方向性	平成 21 年 7 月 30 日協議実施					平成 22 年 5 月 6 日協議実施					平成 年 月 日協議実施					
*根拠欄は、なぜその「成果の方向性」を選んだか？なぜその「コストの方向性」をえらんだか？別紙「評価の視点」を参照してください。	成果の方向性	拡充	○			成果の方向性	拡充				成果の方向性	拡充				
		現状維持					現状維持					現状維持				
		縮小					縮小					縮小				
		休廃止					休廃止	○				休廃止				
			休廃止	縮小	現状維持	拡充		休廃止	縮小	現状維持	拡充		休廃止	縮小	現状維持	拡充
	コストの方向性					コストの方向性					コストの方向性					
方向性を実現するため実施すること（改革案）	次世代育成支援協議会における意見やパブリックコメントを経て後期行動計画を成案化する。					★上記を選択した根拠 後期計画を策定したことから、成果の方向性は「休廃止」に、また、22 年度以降は、次世代協議会の運営費が主な事業費であるため、コストの方向性は「縮小」とした。					★上記を選択した根拠					
前年度改革案の実施状況	□実施 □一部実施 □検討中 ■その他 ★実施以外は具体的に記載してください。前年度改革案を設定していないため。					■実施 □一部実施 □検討中 □その他 ★実施以外は具体的に記載してください。					□実施 □一部実施 □検討中 ■その他 ★実施以外は具体的に記載してください。					